





第一回セミナー「いざという時の災害時に役立つ知恵と工夫」に参加しました。前半は、河川・防災工学が専門の工学博士、鮎京宏延先生による「長良川決壊の復旧と伊勢湾台風の体験を通して、命を守る避難の仕方を学ぶ」と題して講義を受けました。時間切れになる位、中身が濃くて、おもしろい内容でした。

後半は、「たかしま災害支援ボランティアネットワークなます」の田直子氏と上原初美氏お一人による楽しい防災漫才。阪神淡路大震災からは、「寝る時にはパジャマではなく、災害時に遭遇した時の対処法を字ごとに覚えておこう」という趣旨で就寝している」という所が印象に残りました。

私は、緊急時用に3日分の飲料水と缶詰等の食料品を備蓄しています。賞味期限チェックもせすりユックリ詰めたままで安心していましたが、それではあまり役に立たない事を知りました。

今回のセミナーで、来るべき大地震をはじめとする様々な災害時に向けて「備えと構えで減災自指す」「いざという時自助・公助」を再認識しました。何事も、自分自身の知識・